

万博コラム vol. 5



大阪・関西万博公式
キャラクターミャクミャク
©Expo 2025

万博の魅力③「未来社会の実験場」

固政策推進課(内線 514)



公益社団法人
2025 年日本国際博覧会協会
経営企画室 上席審議役 西本 敬一

大阪・関西万博の魅力の3 回目は、
「未来社会の実験場」です。

◆万博は常に未来社会の実験場

万博はいつの時代も人々が未来技術に触れ体験する場でした。古くは19世紀の電話や蒸気機関、エッフェル塔やエレベーターなどが人々を魅了しました。1970年の大阪万博では、月の石を見た人々が宇宙に思いを馳せ、ワイヤレスホンや電気自動車の人々を驚かせました。2005年の愛知万博では、トランペットを吹くロボットが人気を博しました。今回は一体何が見られるのか。

大阪・関西万博では、超スマート社会と言われる Society 5.0の未来社会を実体験いただきます。具体的には、フューチャーライフ、スマートモビリティ、デジタル、グリーン、バーチャル、アートの6分野で展開します。

◆幸せの都市からカーボンリサイクル工場まで

まずご覧いただきたいのが、万博会場最大級のスーパーパビリオン「幸せの都市へ」です。博覧会協会と日本を代表する12の企業が未来の都市をお見せします。

スマートモビリティ分野では、空飛ぶクルマ、EV バス、水素船をご覧いただきます。空飛ぶクルマは、空港や大阪市内から万博会場までの運航をめざします。約100台の最新鋭 EV バスが会場内外を走行し、レベル4の自動運転や走行中給電技術を大規模に実証実験します。水素燃料電池船は、中之島

やユニバーサルシティと会場を結びます。

グリーン分野では、カーボンリサイクル工場を間近に見られます。回収した CO2 や水素から e メタンを作り、会場内での調理や給湯に使用します。あつめる→つくる→つかうというカーボンの循環過程をリアルに見られる貴重な機会です。

◆ ICT デジタル技術で安全快適な万博を実現

2005年の愛知万博の時代との大きな違いが ICT デジタル技術の急速な進歩です。

リアル万博をデジタル技術で拡張し、「いつでも、どこでも、だれでも」万博にアクセスできるようにします。その象徴が日本で初めて実現するバーチャル万博です。皆様のアバターがパビリオンやイベントを見学できます。また、他のアバターとの会話やショッピングもできます。

デジタル技術を来場者の安心安全、快適性の向上にもフル活用します。万博史上初のデジタルチケットによる来場予約制や全面キャッシュレスを導入し、混雑緩和や現金を持たない便利さ快適さを実現します。「私らしい」快適な来場体験をサポートするパーソナルエージェントや30言語に対応した自動翻訳システムにより、世界中の人々と共に未来社会を実感いただければ幸いです。



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025

固商工観光課(内線483)



万博200日前イベント
に本市も参加！
9月29日、八尾市のア
オ八尾で開催された「万博
200日前イベント」に本
市も出展しました。
本市は、リニューアルした
観光ガイドの配布や観光公
式Instagramフォロ
ワーキャンペーン、富田林
ランド商品などの販売を行
い、ステージでは市長が富
田林市の魅力をPRしました。